

BEENOS、日薬本舗と台湾販売提携



日薬本舗の謝董事長（左）とBEENOSの直井社長＝16日、台北（BEENOS提供）

電子商取引（EC）事業などを多角展開するBEENOS（ビーノス）は16日、日本製品に特化したドラッグストアチェーン「日薬本舗」を運営する日薬本舗と、日本製品や日本初のコンテンツを台湾に輸出・卸していくための包括的業務提携に合意したと発表した。

台北市で行われた提携合意書の調印式には、BEENOSの直井聖太社長と、日薬本舗の謝徳璋董事長が出席した。第1弾として、BEENOSの子会社でコンテンツビジネスを手掛けるモノセンス（東京都品川区）がライセンスを保有する日本人イラストレーター、絵子猫氏の「ECONECO（エコネコ）」ブランドの美容商材を、11月中旬から日薬本舗各店で販売する予定。

日薬本舗をパートナー企業としたことについてBEENOSは「実店舗を34店展開しているほか、台湾における多数の商品ライセンスの管理や小売店への卸事業も手掛けており、実績に着目した」と説明している。

BEENOSは傘下のtensō（東京都品川区）が、日本のECサイトで購入した商品の海外へ代行発送するサービス「転送コム」や、日本の通販・オークションサイト商品の代理入札や購入をサポートするサイト「Buyee（バイイー）」を運営しており、EC商品の海外発送点数は業界最大規模。台湾からの利用や台湾への発送は国・地域別上位で毎年、前年の規模を上回っており、BEENOSは台湾を戦略的重点地域に位置付けている。